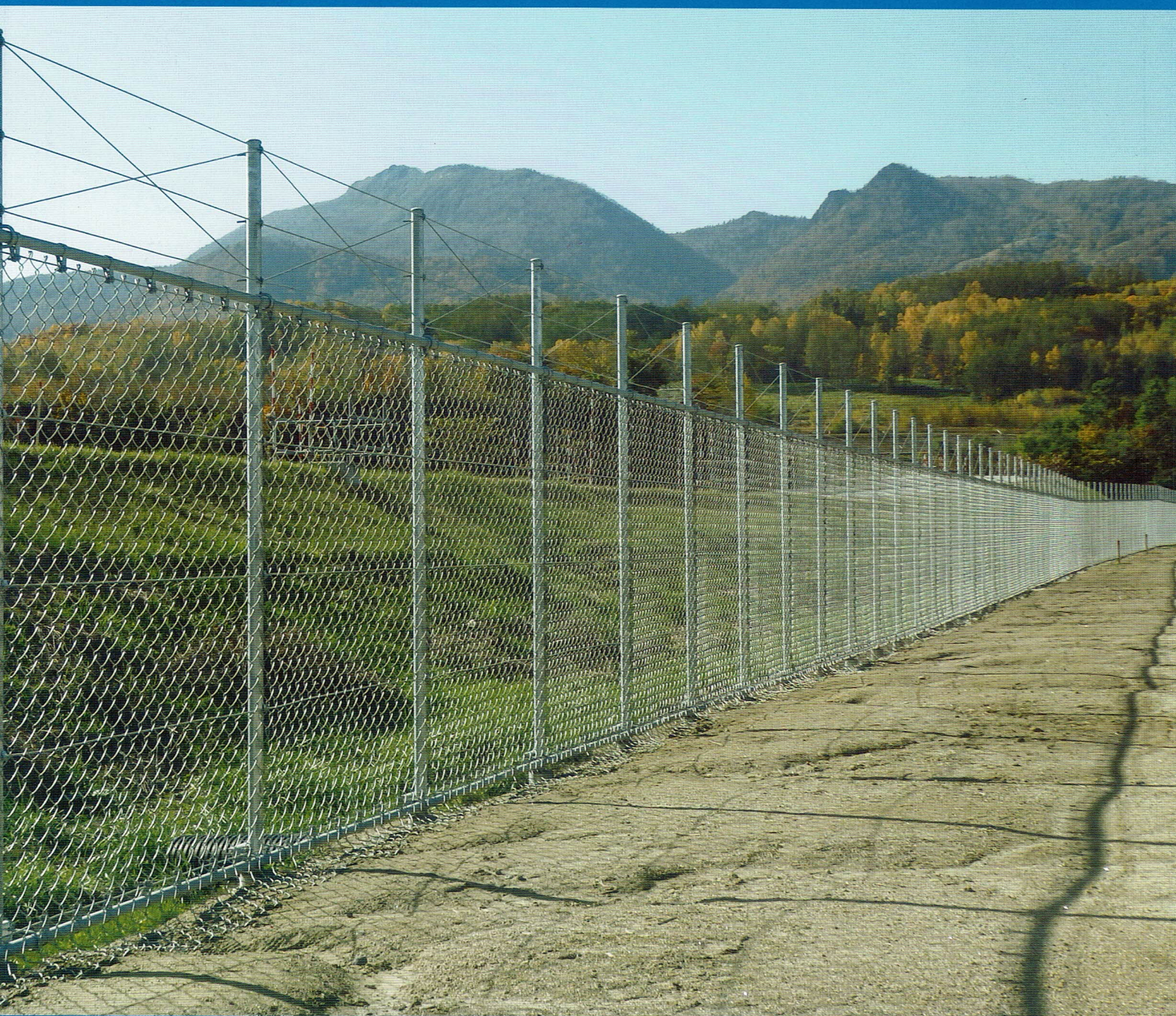


SAGネットフェンス

－ さびない金網動物対サク －



サビ アニマル ガード

SAG ネットフェンス協会

SAGネットフェンスの特徴

優れた機能性

従来の立入防止柵の役割に加えて、小動物の侵入も防止します。

優れた耐衝撃性及び耐寒性

IR(低密度ポリエチレン)被覆は低温特性に優れており、アイゾット衝撃試験においては -30°C の温度域でも常温時の耐衝撃性を有しています。したがって、雪国などに最適な製品です。

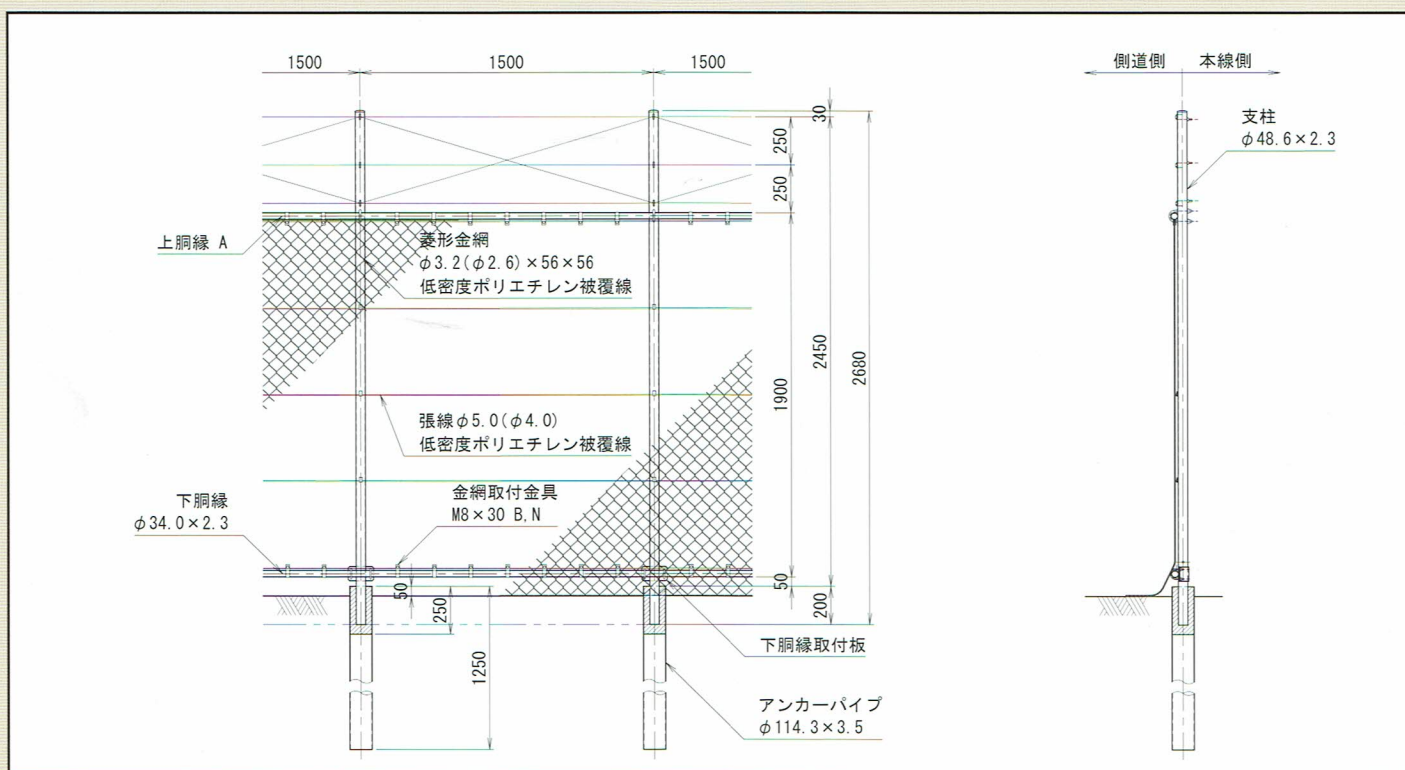
優れた防食性

IR(低密度ポリエチレン)被膜と心材を強力接着させる事により空気・水分を完全に遮断して心材を保護します。したがって、特殊な環境(海岸、離島、融雪剤使用地域、温泉地)においてもIR(低密度ポリエチレン)被覆した亜鉛めっき鉄線を使用することにより必要耐用年数を得ることができます。

優れた耐候性

促進暴露試験試験装置(WS-A)にて12,000時間クリアしています。

参考図 (立入防止柵 SA-4 鹿対応タイプ)



富良野市 (H28 年度施工)



紋別市 (H28 年度施工)

高性能性

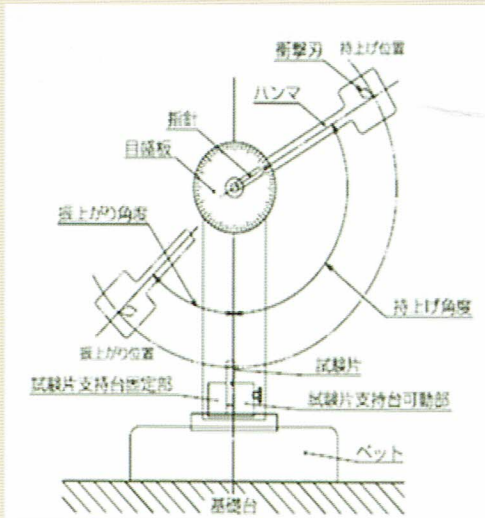
従来の立入防止柵の役割に加えて、小動物の侵入も防止します。



衝撃と寒さに強い

IR（低密度ポリエチレン）樹脂は、温度による衝撃試験の差はありません。（自社製品比較）

耐寒衝撃試験

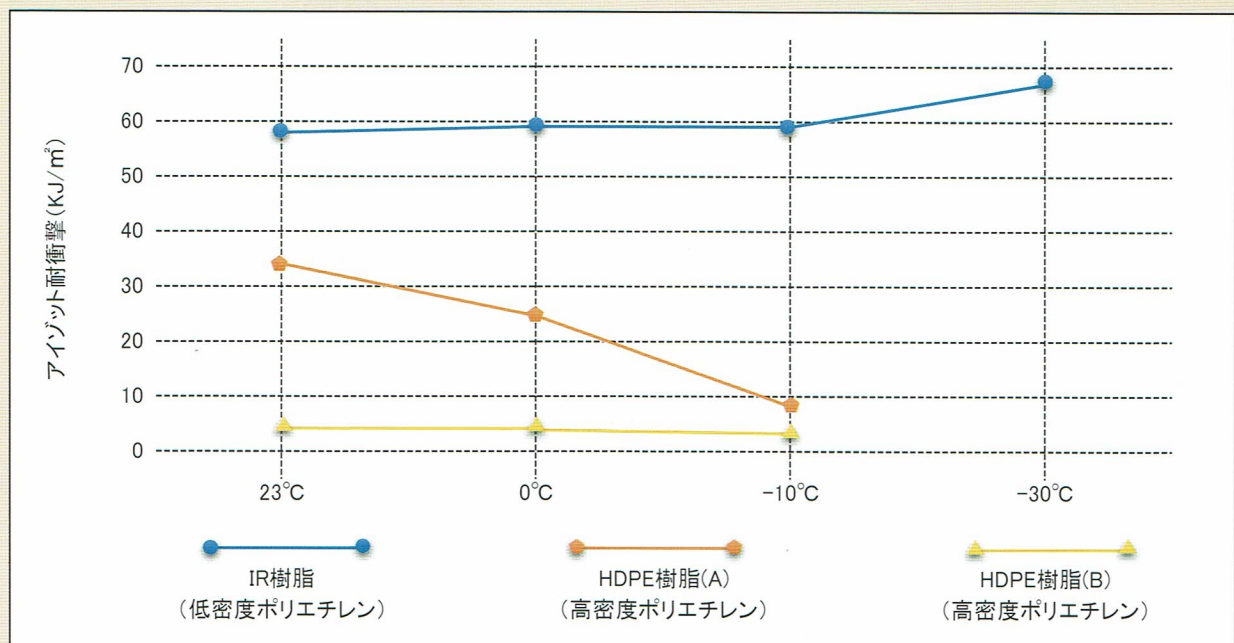


耐衝撃試験 測定結果（単位：KJ/m²）

試料名\温度	23℃	0℃	-10℃	-30℃
IR樹脂	58	59	59	67
HDPE樹脂(A)	33	25	8	—
HDPE樹脂(B)	4	4	3	—

※ ～40KJ/ m²とは

1 m²の底辺を持つ4 tの物体が1mの高さから
1 m²の面積に落ちた時の衝撃に相当する。



高耐久性

- 被覆材と心線との強固な接着、防食性の高い樹脂の使用により、高防錆性を実現。
端部でサビが発生しても接着により進行を食い止めます。
- 従来のめっき線（7 種）の 3 倍以上長持ち。初期強度、色ツヤを維持し続けます。

ひし形金網用材料比較表

	ポリエチレン(IR)被覆 亜鉛めっき鉄線(H)3種		亜鉛めっき鉄線(S)7種	
使用線材	JIS G 3505(軟鋼線材)		JIS G 3505(軟鋼線材)	
防錆処理	めっき付着量120g/㎡以上 ポリエチレン被膜300μm		溶融亜鉛めっき400g/㎡以上	
防食機構	完全な接着加工によりポリエチレン被覆(IR)が亜鉛めっき鉄線(H)3種を保護する。		亜鉛めっき層が少しずつ溶落していくことによって、下地の鉄線を保護する。亜鉛めっきの耐用年数はめっきの付着量にほぼ比例する。	
耐候性 腐食減量	〈社内データ〉 ・塩水噴霧試験:10,000時間変化無し。(約40年相当) ^{※1} (心材AZHと4種めっき相当での実績) ・耐候性促進暴露試験(WS-A):12,000時間変化無し。 (約60年相当) ^{※2} ・実曝データ:沖縄離島で施工後6年半変化無し。		〈社内データ〉 ・めっき部分 重工業地帯で40g/㎡・年 臨海地域で40g/㎡・年	
耐用年数	重工業地帯で約30年以上 臨海地域で約30年以上 (耐候性データより考えると60年以上)		重工業地帯で約10年 臨海地域で約10年	
線強度 上段:引張強度 下段:破断荷重	(外径) 3.2mm (心線径) 2.6mm	590～880N/㎟	3.2mm	290～540N/㎟
		(3140～4660N)		(2340～4340N)
金網張力	22.75kN/m		16.95kN/m	

※1 促進暴露試験ハンドブック(腐-32)より、240時間が1年間に相当する。
※2 建設技術審査証明報告書 鉄線籠型護岸用被覆鉄線「IR 被覆鉄線」より。

【敷き網経過調査】

IR(低密度ポリエチレン)被覆亜鉛めっき鉄線と亜鉛めっき鉄線(7 種)の経過調査結果



IR(低密度ポリエチレン)被覆亜鉛めっき鉄線
設置後約 8 年経過
ツヤもあり設置当初の状態を維持している。



亜鉛めっき鉄線 7 種(S)
設置後約 8 年経過
赤さびが発生している為、設置当初の金網強度が維持できていない可能性が高い。また、腐食の影響で盛土との境界が識別しにくい。

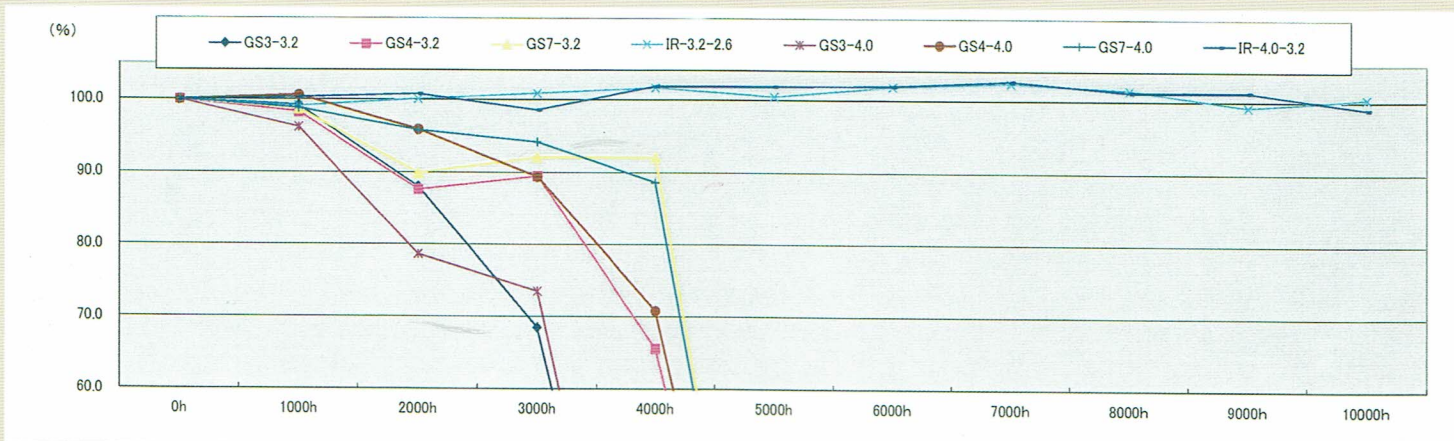
【塩水噴霧試験 線材比較 2000 時間】

JIS Z 2371 塩水噴霧試験による。 35℃ 5% NaCl 水溶液

経過時間	IR被覆線 (茶色)	IR被覆線 (透明)	着色塗装亜鉛めっき鉄線	亜鉛めっき鉄線 (3種)	亜鉛アルミ合金めっき鉄線 (10%アルミ)
0時間					
400時間					
800時間					
1200時間					
1600時間					
2000時間					

400 時間で 3 種めっき、合金めっきに錆が発生。着色塗装も肉厚が薄いとピンホールが出来やすく、ピンホールから錆が発生することが分かる。

【塩水噴霧試験 線材比較グラフ 10000 時間】



耐摩耗性

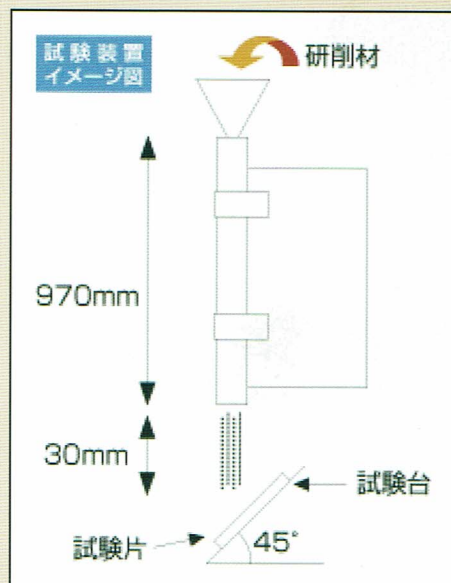
○亜鉛めっきと比べ、摩耗率が 1/18。摩耗の厳しい環境でも被覆材が心材を保護します。

砂落とし摩耗試験

試験片を鉛直方向と45度になるように試験台に固定。

試験片に研削材を落下させ、試験片の重量変化により砂摩耗量を求めた。

	IR (低密度ポリエチレン) 被覆線 φ 6mm (φ 4mm)	亜鉛めっき鉄線 (S) 3種 φ 6mm
平均試験前重量	被覆部重量 1,148mg	めっき部重量 283mg
平均摩耗量	14mg	61mg
平均摩耗率	1.2%	21.6%
比率	1/18	1



SAGネットフェンス協会 会員

- | | |
|---------------------|--|
| □ 株式会社ウィズ | 〒080-0015 帯広市西5条南13丁目8番地 第二いせきビル6F
TEL 0155-23-3033/FAX 0155-23-5155 |
| □ 株式会社ウィズ
札幌営業所 | 〒065-0024 札幌市東区北24条東16丁目1番4号 ロイヤル元町6階西
TEL 011-594-8988/FAX 011-594-8980 |
| □ 小岩金網株式会社
北海道支店 | 〒065-0024 札幌市東区北24条東16丁目 正栄ビル
TEL 011-785-0880/FAX 011-785-1130 |
| □ 株式会社トーエス
札幌事務所 | 〒065-0024 札幌市東区北24条東16丁目1番4号 ロイヤル元町6階西
TEL 011-594-8938/FAX 011-594-8939 |
| □ トワロン株式会社
札幌営業所 | 〒065-0022 札幌市東区北22条東3丁目1-35 ハイテクビル・さっぽろ301号
TEL 011-214-0760/FAX 011-214-0760 |
| □ 株式会社日本ライフテック | 〒062-0901 札幌市豊平区豊平1条2丁目1-15
TEL 011-837-2820/FAX 011-837-2810 |
| □ 北海道ガソン株式会社 | 〒063-0029 札幌市西区平和335番地2
TEL 011-663-1000/FAX 011-663-1100 |
| □ 丸菱金属株式会社 | 〒080-2462 帯広市西22条北1丁目3番地8
TEL 0155-67-8980/FAX 0155-67-8906 |